

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	リエゾン横浜センター南教室		
○保護者評価実施期間	2024年 10月 8日		2024年 10月 31日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	35	(回答者数) 16
○従業者評価実施期間	2024年 10月 15日		2024年 10月 31日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	4	(回答者数) 4
○訪問先施設評価実施期間	年 月 日		年 月 日
○訪問先施設評価有効回答数	(対象者数)		(回答者数)
○事業者向け自己評価表作成日	2024年 12月 18日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	保護者様にレッスンを見学していただける	送迎していただいた保護者様に、くつろいで見学していただけるようなモニタリングルーム作り(ドリンクの充実や冷暖房等)を行っている。また、レッスンを見学していただくことで、お子様の成長や場面ごと心情を共有することができている。	常に保護者様の視点に立ち、さらに居心地の良いモニタリングルーム作りができるよう努めていく。また、お子様の成長や活動に励んでいる姿が見えやすいレッスン作りを引き続き行っていく。
2	スモールグループのため、お子様一人ひとりと密にかかわれる	小人数制のレッスンのため、お子様一人一人の課題に応じたレッスンを提供することができている。また、お友達同士で関わる場面ではスタッフが仲介し、コミュニケーションを促すことができている。	引き続き、お子様一人一人の課題に応じた支援が行えるよう、専門性の強化に励んでいく。また、少人数ならではのコミュニケーションの支援やサポートの充実を図っていく。
3			

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	スタッフの定着	スタッフの入れ替わりが多い。	職員同士でレッスンの振り返り、フィードバックを行い、常に学び合いができるようにしていく。また、内部や外部の研修に出向く機会を設け、一人一人のやりがいや意欲が保てるような環境づくりを行っていく必要がある。
2	外部との連携	他事業所との連携が少ないため、複数事業所通われている方の情報に乏しい。	事業所間で連携が取れるよう、地域の連絡会などに参加し、他事業所の皆様と顔を合わせる機会を作っていく。その中で、より顧客のニーズに応じた支援につながるよう努めていく。
3			